

ディボーション質問表

21日(日)先週一週間のディボーションを振り返ってみましょう。

22日(月)列王記第一 1章

列王記は紀元前550年ごろ書かれたと言われています。この書の扱う時代に、ダビデの後継者としてソロモンが立ちます。彼は「平安の子」の名の通り、イスラエルに最盛期をもたらし、国を豊かにします。しかしソロモンの死後、王国は分裂、後を継いだ王達は罪を繰り返します。ついに神はイスラエルに預言者エリヤを遣わします。

1. アドニヤはダビデの四男としてヘブロンで生まれました。彼は自分から王になることを願い、将軍ヨアブと祭司エブヤタルの支持を取り付けます。5~7節を読み、彼の性格を考えてみましょう。ナタンやソロモンを始めとするダビデの側近達は彼はどうするつもりだったと思いますか。
2. ダビデの命令により、ソロモンが油注がれ、王に任命されます。ソロモンは以降40年間イスラエルを治めます。あなたにも神から任された働きがあります。現時点のそれは何だと思いますか。
3. アドニヤはソロモン王を恐れて命乞いをし、助かります。ソロモン王は彼を寛大に扱いますが、条件をつけました。あなたは寛容さと厳格さのバランスをどう取っていますか。どちらかに偏りすぎてはいませんか。

23日(火)列王記第一 2:1~11

1. 死を前にしたダビデは、ヨアブとシムイへの処罰をソロモンに命じます。なぜ自分で手を下さなかったと思いますか。律法の法則の中では、このように罪が必ずその報いを呼び込みます。このことから「十字架による罪の赦し」がいかにすばらしいものであるか黙想してみましょう。
2. ヨアブは無抵抗のアブネルとアマサを殺し、シムイは逃避行中で弱い立場にあったダビデを侮辱しました。また逆にバルジライはどん底状態のダビデを助けました。それぞれに裁きと報いが下るのですが、このことから父なる神の性質を発見してください。
3. これらのダビデの命令は、その後のソロモンの統治にどんな影響があったと思いますか。

24日(水)列王記第一 2:12~46

1. この箇所ではアドニヤ、ヨアブ、シムイは処刑され、エブヤタルは祭司職を解任されます。この一連の粛清をあなたはどう感じますか。国をひとりの人として考えてみてください。
2. アドニヤは先のダビデ王の晩年を世話していた女アビシャグを、妻にと求めます。ここから彼の政治的下心が何かわかるでしょうか。
3. これらの政治的粛清によってソロモンの国家統一が成されます。その後彼はほとんど戦いを経験しません。その名前の通り、「平和の子」となりました。国を人として考えたとき、「個人の罪」と「平安のある人生」にはどんな関係があるでしょうか。

25日(木)使徒の働き 1:1~26

イエスの業(その言葉と行ない、1節参照)に続いて、聖霊様が中心となって働かれた記録が、この使徒の働きです。御国の福音が地の果てにまで広がっていくさまを伝えています。ですから、この書には結末がなく、聖霊様は今日も働き続けておられるのです。

1. 復活の後、弟子たちの前に姿を現したイエス様が繰り返し伝えたことは何でしたか(1~3節)?
2. 弟子たちが御国を拡大するためにイエス様の命じたこと、また禁じたことは何でしたか(4~5節)?
3. それを守った時に、何を弟子たちは体験したのでしょうか? またイエスの教えを守るために彼らが忍耐してしたこととは何だったのでしょうか(6~14節)?
4. なぜユダの代わりを選ぶ必要があったのでしょうか? 目的は何だと思いますか(15~26節、特に21~22節)。

26日(金)使徒の働き 2:1~40

1. 初代教会に聖霊様が下ったとき、何が起きましたか(1~4節)。
2. 聖霊に満たされた人を周りの人たちは目撃しました。満たされた人たちはどうなりましたか、またそれを見ていた人たちの反応はどうでしたか(5~13節)。
3. 自分たちがワインで酔っているわけではないことを、ペテロはどのように説明しましたか。ペテロのメッセージの内容は何でしたか。また、その後で何が起きましたか(14~40節)。

27日(土)使徒の働き 2:41~47

1. この箇所は初代教会のライフスタイルについて語っています。ペンテコステの日には何人が悔い改め、信じましたか? なぜ、初期の教会の人達は1つ部屋に集まっていたのですか? また、何によって彼らの信仰は強められたのですか(41~42節)?
2. 41~42節のような生活を実践したことによって、どんな結果が生まれましたか? 初代教会がどれほど力強かったか、今日の教会とどこが異なるか発見してください。また発見したことを実践してみましょう(43~47節)。